



仙高の「フラ
ワーロード」
にはチューリ
ップが満開！



❖**入学式を挙行** 4月8日、午後より本校第1体育館にて令和3年度入学式を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来賓の皆様は臨席は叶いませんでしたが、保護者の見守りの中で、279名が岩井誠校長から入学を許可されました。新入生を代表して、竹内峻さんが、「いろいろな事に挑戦し、人間として大きく成長したい」と力強く誓いの言葉を述べました。生徒たちはよいよ高等学校での生活の第一歩を踏み出します。(↓)岩井 誠校長「入学式式辞(一部抜粋)」◆私たち現代人にとって、全世界的に拡大している



る感染症と向き合うのは、初めての経験かも知れませんが、歴史を遡れば、人類と感染症の戦いは今に始まったことではありません。その時々長い間悩み苦しみながらも光を見出してきた先達に敬意を表するとともに、今こそその歴史に学ぶ必要があると思っています。◆皆さんの先輩に当たる2、3年生の皆さんも、昨年度同じように悩み苦しみながらも、限られた高校生活をより良いものにしようと前向きに取り組んできました。大切な機会を失わないためにどうすればよいのか、これまで以上に話し合い、考えをめぐらし、試行錯誤する中で改善策を見出してきました。また、結果的に行えなくなってしまった学校行事もありましたが、中止が仕方ないとしたら代わりに何をすべきか、ここでも頭を悩ませながら、その時点で最善と思える策を見出してきたわけです。こういったことを繰り返し行うことによって、人はどう変化するか、私は感染症を歓迎する気はさらさらありませんが、何もなかった時に比べれば、この一年余りでより冷静で賢

明な判断ができるようになり、また、よりたくましく成長できたのではないかと考えます。この経験は決してムダではない。むしろ、複雑かつ予測困難で変化の激しいこれからの社会を生きる生徒の皆さんにとって、大きな自信と知恵と勇気を得たことになるのではないかと考えます。◆石巻出身の作家で辺見庸さんという方がいます。この方が雑誌のインタビューで「インターネットが普及し、世界中の情報が自由に手に入る今、なぜ旅に出る必要があるのですか？」と問われてこう答えています。「想像(イマジネーション)を裏打ちするのは結局経験です。その場に出かけて行って、想像とは異なる現実に裏切られた方が『想像の射程』が鍛えられる」。私たちは見もしないで、あるいは行きもしないで、ネットで検索した内容や画像などである程度想像がつき、つい「こんなものか」と思いがちです。でも実際に足を運んでみれば、そこには思いもよらなかったことや、ネット検索ではわからなかった情報が五感を通して自分に飛び込んできます。こういったことを繰り返していると、知らず知らずのうちに「想像の射程」が鍛えられる。この「想像の射程が鍛えられる」という短い言葉を胸に留めておくだけで、考える力や判断する力が増して、今何をすべきかが見えてくるのではないのでしょうか。◆学校生活はまさにリアルそのものです。多くの人が同じ場に集うと、つい他者と自分を比べて、劣等感にさいなまれることもあるかも知れませんが、見方を変えて前向きに捉えれば、この人はこんな風に考えるんだ、そんな考え方もあるんだ、それいいなあ、それもありがたかも、という刺激や気づきがあふれている環境ということになります。この多くの刺激や気づきを、入力(=INPUT)と捉えれば、当然出力(=OUTPUT)も多様なものになります。多くの人が一つ場で学ぶことによって高校生活が豊かになる、延いては皆さんの人生が豊かになるものであることを願ってやみませんし、私たち教職員もともに成長していくことで皆さんの学びをより良いものとするよう精一杯取り組んでまいります。



令和3年度入学式「宣誓」(抜粋)「私たちがこの仙台高校で過ごす三年間は、将来について深く考え、進路を選択していくための大切な三年間となります。それぞれが一日一日を大切に、目標に向けて努力し続けられれば、きっと道を拓くことができるでしょう。しかし、時には壁にぶつかり、詰めそうになることがあるかもしれません。そんな時は、ここで出会えた仲間

たちと励まし合い協力していきます。そうすれば、きっと乗り越えることができるはずです。この三年間、いろいろなことに挑戦し、多くのことを経験することで、充実した高校生活を送るとともに、視野を広げ、人間として大きく成長していきたいと思えます。」

写真 堂々と力強く宣誓を述べる竹内峻さん



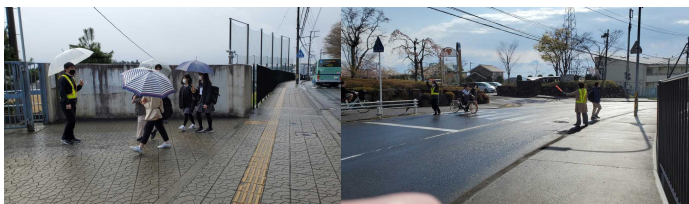
◆令和3年度「新任式」・「始業式」を行いました。

4/8、新任式・始業式を放送で行い、新しく着任した岩井誠校長から全校生徒に向けて挨拶がありました。始業式後、野田教務部長と佐藤(政)生徒指導部長から年度初めのお話があり、その後、中村淳教頭からクラス担任や部活動顧問



名が発表され、あちらこちらのクラスから歓声や拍手が起きていました。

◆登校指導を行いました。 4/9、生徒指導部等の教員が国見駅や東西校門付近に立ち、生徒の登校マナーアップを呼びかけました。この日、新1年生も初登校。横断歩道の渡り方や歩道を歩く際のマナーなどを指導しました。



◆新年度 全学年がそい学校生活をスタートさせました。

4/9、この日は学年毎にオリエンテーション等が行われました。2、3学年は、新型コロナ対策のため、第1体育館を広々使って学年集会を行いました。岩井校長先生と初対面した後、学年に所属する先生方が自己紹介などを行いました。1学年はクラスで担任・副担任の先生とクラス開きが行われた後、保健室の利用の仕方やゴミの捨て方などについて、学年の先生が手作りで作った説明動画を楽しみながら鑑賞しながら確認しました。



◆フェニックスプラン(キャリアプラン) 3学年がそれぞれ取り組みました。

4/22、1年次のフェニックスゼミでは、身近な事象から課題を見だし、自分の考えを表現する力を身につけます。2年次のHR 研修旅行では、1年次からの継続課題を発展させ、他地域における現地学習による調査研究を行います。3年次には探究学習の集大成として研究レポートを作成することで、具体的な将来像をイメージし、自身の社会における役割を見だししていきます。この日は、SDGs についての学びの深度を踏まえながら、各学年のフェニックスプランに臨みました。



◆新入生との対面式・部活動紹介を開催しました。



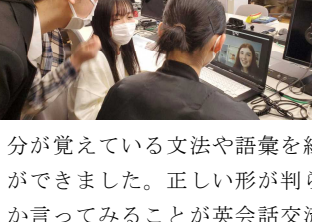
4/12、生徒会の主催による対面式が放送によって行われました。新入生に対し、校長先生をはじめ、生徒会長や先輩たちから仙台高校での生活の様子、学校行事など様々なことを紹介しました。最後に、新入生代表からもあいさつが述べられ、とても有意義な対面式となりました。また、6校時には体育館にて2・3年生による部活動紹介が行われ、ユーモアに溢れたパフォーマンスなどに1年生も釘付けになっていました。生徒会長菊池真優花さん(3年)は、「行事や部活動など、楽しいことがたくさん待っていますが、学校での学びは中学の内容に比べ、より深いものになります。自分の夢を実現させるために、勉強もしっかり頑張りましょう。」と述べました。新入生代表開地遙花さんは、「コロナウイルスで様々な活動が制約される中、充実した学校生活を送れていると聞き、私たちも仙台高校での毎日に期待が膨らんでいます。」と述べました。



◆ケリービル高校(豪州)と国際交流！

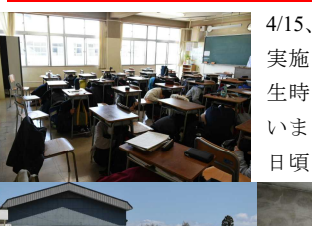


4/22、昼休みの時間に、オーストラリア(ニューサウスウェールズ州)のケリービル高校とZoom(Web 会議ツール)で交流会を開催しました。生徒達は、英語や日本語で自己紹介したり、互いの文化について質問し合ったりしながら会話を楽しんでいました。参加した浅野奈々佳さん(3年)は、行えなかった基金留学をこの様な形で開催していただき先生方やケリービル高校の方々に感謝したいです。ありがとうございました。参加して思った事、それは、「何事にもチャレンジしてみる事が大事」ということです。交流中、聞きたい質問はあるのに英語で何と伝えれば良いのか判らない時が何度もありました。でも、自分が覚えている文法や語彙を組合せ質問したところ、無事伝えることができました。正しい形が判らないからと諦めるよりとりあえず、何か言ってみることが英会話交流について大事なんだと感じました。



山下佳鈴さん(3年)は、「自分の話した英語が伝わることにとても嬉しく感じました。失敗を恐れずに身振り手振りも加えることで伝わり、常に笑いが絶えず楽しい時間を過ごせました。今は現地に行くことは叶いませんが、将来何かしらの形で国際交流をしたいと、交流を通じで強く思いました。」

◆防災訓練を実施しました。



4/15、地震と火災を想定した防災避難訓練を実施しました。新年度となり、改めて災害発生時の行動や避難経路の確認などを丁寧に行いました。また、講評では中村教頭先生より、日頃から危険を想定しておくことの大切さが



語られ、生徒も真剣な様子で聞いていました。